

2018  
**9**  
(9月15日号)

市民しんぶん山科区版

# やましな



## 山科の**明るい未来**を切り拓く**戦略**を作成します

### 魅力あふれる山科

わたしたちの山科区は、1400年を超える歴史と豊かな自然に恵まれ、住民自治の伝統が脈々と受け継がれ、人と人のつながりがとても温かいまちです。また、区内には、JR線、京阪線、地下鉄が走り、高速道路の出入口も2箇所設置されているなど、交通利便性の高いまちです。さらに、近年は、犯罪件数(刑法犯認知件数)が6年間で6割も減少し、いまでは市内11行政区で人口当たりの犯罪件数が2番目に少ない安心安全のまちになりました。こうしたこともあり、平成29年には4年ぶりに人口が転入超過となりました。

### 未来の山科のまちづくり戦略

そんな山科区が、今、大きな時代の転換点を迎えています。昭和30年から昭和51年にかけて急増した人口は、昭和55年以降ほぼ横ばいで推移していましたが、これからは本格的な人口減少社会に突入し、高齢化や少子化が一層進みます。人口の減少は、経済の縮小や地域コミュニティの機能低下、空き家の増加など、深刻なまちの活力の低下をもたらします。そこで、京都市では、子どもや孫の世代になっても山科が活力に満ちた魅力的なまちであるために、これからのまちづくりの方向性を示す「**未来の山科のまちづくり戦略(仮称)**」を作成することとしました。作成に当たって、有識者や地元代表等から意見を聞くために「第1回山科の未来を語る懇談会」を8月24日に開催しました。

**山科の未来を語る懇談会委員** 敬称略、50音順、◎は会長

|                           |                              |
|---------------------------|------------------------------|
| 内海 敏(山科区自治連合会連絡協議会会長会副代表) | 高野 江里(京都薬科大学学生課長)            |
| ◎川崎 雅史(京都大学大学院工学研究科教授)    | 高畑 咲季(市民公募委員)                |
| 川中 長治((一社)山科経済同友会会長)      | 初田 幸隆(京都教育大学教職キャリア高度化センター教授) |
| 住友 正蔵(山科区自治連合会連絡協議会会長代表)  | 日比野 英子(京都橋大学健康科学部教授)         |

### 京都刑務所の敷地活用を柱に

今回作成する戦略では、山科の未来にとって非常に大きな可能性を秘める京都刑務所の敷地活用をはじめ、京都の東の玄関口である山科駅前エリアの活性化、区内最大規模の集合住宅地で高齢化が顕著な山科団地エリアの活性化などを検討していくこととしています。

**京都刑務所について**  
昭和2年に現在地に転移され、90年以上が経過する中で、宅地化が進むとともに、交通利便性が高まるなど、周辺環境は大きな変貌を遂げました。現在、市内の都市部で約10.7ヘクタールという広大な土地を確保することは難しく、京都市では、この土地の活用が山科区はもとより、京都全体の発展にも大きく寄与すると考えており、国策としての地方創生を推進する観点から、国に移転をはじめとした有効活用の検討を要望しています。

### 戦略のとりまとめ

今後、10月を目途に第2回懇談会を開催、戦略の素案を作成し、その後、広く区民、市民の皆様のお声を聴くためにパブリックコメントを実施します。平成31年1月頃に第3回懇談会を開催した後に、戦略をまとめる予定で、その後、京都刑務所の移転をはじめとした有効活用の検討を国に進めて頂くための提案書として、国に提示します。

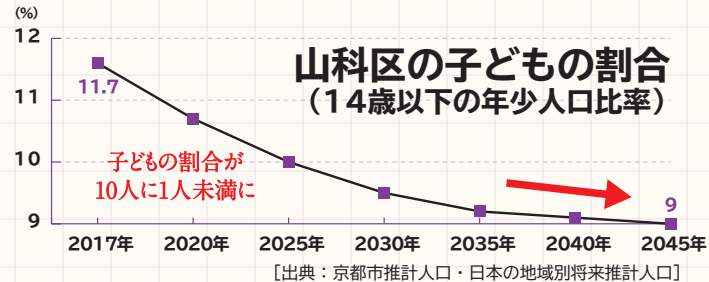
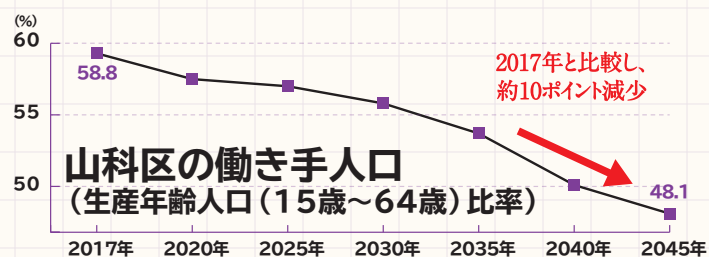
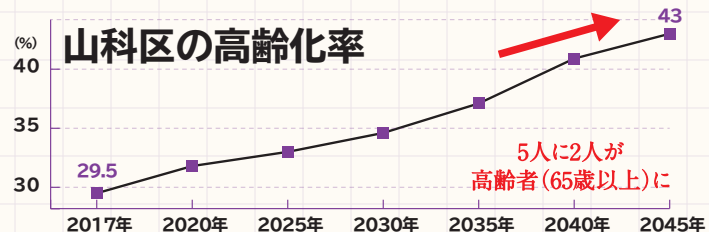
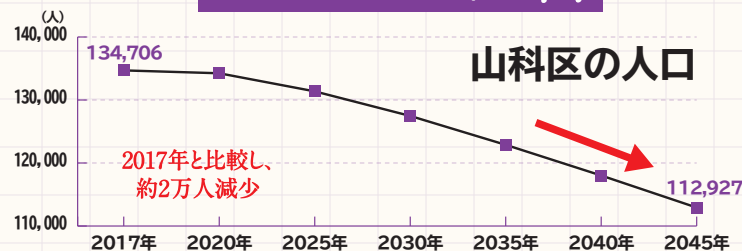
### 未来の山科のために

直面する課題から目を背けず、挑戦することが、次の世代へのわたしたちの責任です。未来の明るい山科を切り拓いていくために、区民の皆様のご理解をお願いします。

### 「第1回山科の未来を語る懇談会」で出された意見(抜粋)

- 出生率が全市で3番目に高いにも関わらず、小学校に入る頃には家族で区外へ転居されている傾向があることは残念。子育てしやすいと感じてもらうための魅力が必要。
- かつて山科は陸の孤島とも言われたが、経済界も努力するので、行政も都市基盤の充実を図っていただきたい。
- 刑務所は子どもの頃からあったので違和感はないが、山科中心部の広大な敷地であり、地下鉄駅にも近く便利な場所なので、有効活用しないともったいない。
- 山科は自然が豊かで交通も便利になり、住みやすいまちである。今後は、教育や医療、文化・芸術など様々な分野が融合された人の集まるまちになってほしい。
- 刑務所敷地を人工知能など我が国の最先端の技術を研究する拠点として活用できれば、雇用も生まれ、その成果が山科の教育や産業、農業などに還元されるのではないかな。
- 山科の交通は便利だが、山科駅は通過地になっている。疏水通船でも山科で下船する人が少なく、魅力の発信が重要である。
- 友人を山科に案内する際、まだまだ魅力が発信できていないと感じたので、もっと山科の魅力を発信していくとともに、新たな魅力の創出もしていくべきだ。
- 構造上、山科駅前と柳辻周辺はまちの拠点となっており、拠点を繋ぐことで人の流れができ、まちや人が生き生きする。

### これからの山科



### 山科区の空き家

現在、全市平均を上回る  
**7軒に1軒が空き家**

[出典：平成25年住宅・土地統計調査]

山科区の空き家数  
**約10,000軒**

### 山科区の地価(住宅地)

市内11行政区で唯一のマイナス

[出典：平成30年地価公示の概要(京都府)]

平成30年の公示地価  
山科区 **△0.3%**  
京都市平均 **+1.3%**

**問合せ** 市プロジェクト推進室(☎222-3984)  
区総務・防災担当(☎592-3066)